

# 佐久平ハーフマラソン 大会計画

第1回佐久平ハーフマラソンに関わる  
会場・コース装飾等関連業務仕様書  
添付資料

# 佐久平ハーフマラソン 大会概要

スタート地点まで北陸新幹線佐久平駅から徒歩5分のアクセス抜群レース！  
「自然・街・人」が調和した佐久らしさを体験できるコース！

メイン会場の市民交流ひろばでは佐久の名物でおもてなし



©武論尊・原哲夫/コアミックス1983

開催日 令和5年10月22日(日)  
午前9時00分スタート

定員 4,000名(全種目合計)

種目	ハーフマラソン (21.0975km)	5km	1.5km
対象	一般	一般、高校生、 中学生	中学生、小学生 ファミリー
定員	2,800名	700名	500名
制限時間	3時間10分	45分	45分

## 佐久鯉マラソン(コース:駒場公園～志賀)

開催月:5月4日 種目:10km、5km、4km、3km、2km  
参加者数:1,098名(令和元年 ※令和2・3年は中止、令和4年はファミリーの部のみ開催)

## 佐久市ハーフマラソン(コース:佐久総合運動公園陸上競技場～上平尾)

開催月:10月中旬 種目:ハーフマラソン、10km、5km、3km、1.5km  
参加者数:495名(平成30年 ※令和元～4年は中止)

## 元旦マラソン(コース:佐久総合運動公園陸上競技場～新子田)

開催月:1月1日 種目:10km、5km、3km、1.5km  
参加者数:228名(平成31年 ※令和元～5年は中止)

## 佐久平ハーフマラソン

市内の既設マラソン大会を統廃合し、交流の促進と地域の活性化を更に図れる魅力のある新たな大会の構築を目指す。

# コース概要

市街地をスタートし、浅間山や蓼科山を眺望しながら、五郎兵衛新田を駆け抜けるコース。秋麗の信濃路、佐久ならではの「自然・街・人」を体感できます。



地図画像引用元：Google社「Google マップ」

# 大会の強み

1. 佐久平駅からメイン会場まで約400m  
徒歩5分で移動できる良アクセス



地図画像引用元：Google社「Google マップ」

2. 佐久平駅を中心とする新しい街中から  
田園風景や山々の風景を体験できるコース



← 浅科地区  
(五郎兵衛新田)



佐久平駅南  
地区⇒

3. 佐久市ならではのランナーへのおもてなし



佐久市・長野県の特産の振る舞い・販売



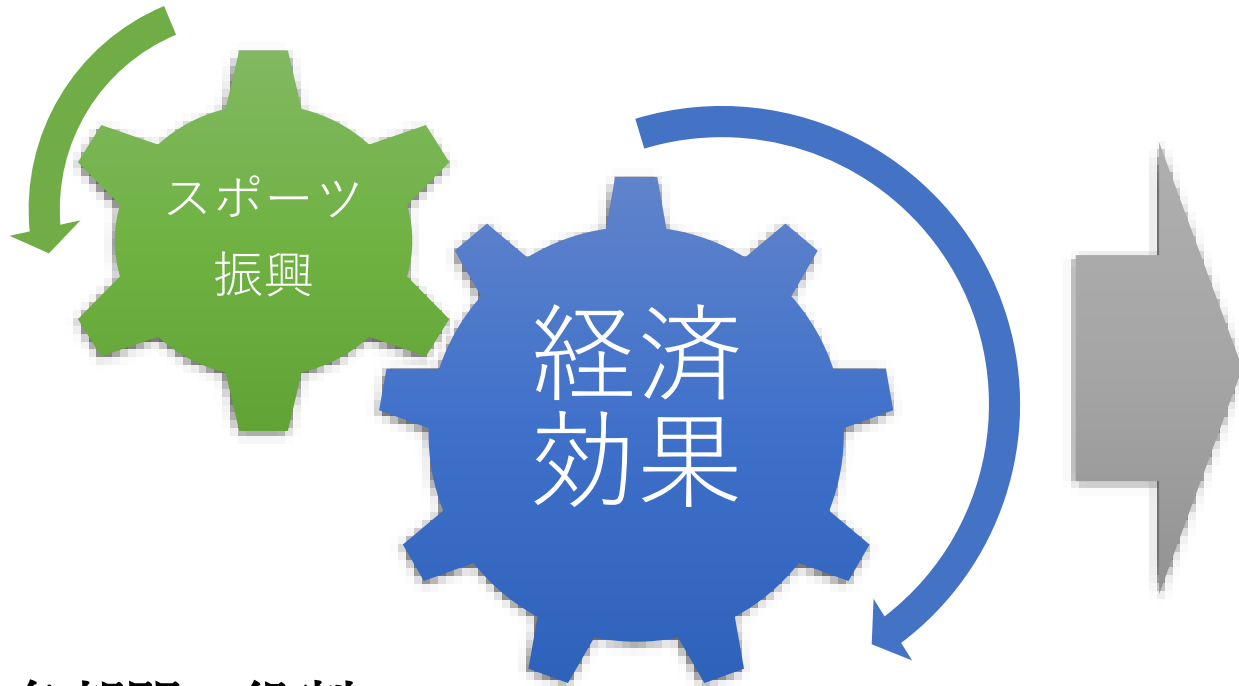
トップアスリートとの交流



ランナーを奮い立たせる演奏 (イメージ)

# 佐久平ハーフマラソンの目指すもの







「スポーツ振興」「経済効果」を両軸に、第二次スポーツ推進計画 基本目標4 「スポーツを通じた交流の促進と地域の活性化」を図る持続可能な大会の構築。



「スポーツを通じた交流の促進と地域の活性化」を図る持続可能な大会（イメージ）



## 各部門の役割

	ハーフの部	5 kmの部	1.5 kmの部
メインターゲット	<p>一般</p>  <p>市外・県外の方 市民ランナー層</p> <p>市民ランナー 実業団に所属せず、趣味でマラソンを楽しむランナー。全国各地の大会に出場したり、ランニング仲間と大会に参加したりする傾向がある。</p>	<p>一般</p>  <p>佐久市民 ビギナー層</p> <p>高校生</p>  <p>佐久市民 競技者層</p> <p>中学生</p>  <p>佐久市民 競技者層</p>	<p>中学生</p>  <p>佐久市民 ビギナー層</p> <p>小学生 (ファミリー)</p>  <p>佐久市民 ビギナー層</p>
部門役割	全国各地からマラソン大会のほかに観光や飲食も享受する市民ランナー層を呼び込む。 →主な目的： <b>経済効果</b>	① 佐久市内一般のマラソン入門種目 ② 地元高校陸上部・駅伝部員の出走（みるスポーツ） →主な目的： <b>スポーツ振興</b>	佐久市内小中学生のマラソン入門種目（するスポーツ） →主な目的： <b>スポーツ振興</b>